

『諏訪祭』

すわ
9月11日には諏訪神社の例祭が執り行われます。社は、
おおくにぬしのみこと
境内本殿の南東に位置し、大 国 主 命 を父神とする建御
名方神(たけみなかたのかみ)が祭神として祀られています。
諏訪神社は子授けの神、安産の神として信仰され、多くの参
詣を受けています。



図一1 諏訪祭 相撲奉納

ひしゃく すすき
子宝または安産の祈願には、底の抜けた柄杓や 薄 を奉
納することが古くからの慣わしになっています。現在では、
略式に紙で作った柄杓も奉納されます。

諏訪祭りといえば奉納相撲。夕暮れから子供相撲が始まり、夜には大人の相撲が奉納されます。地元住民の力士による名勝負、応援の声も賑やかに、奉納相撲が行われます。

中入りには「カ結び」としておにぎりが配られます。このおむすびの中には小石が入っているものと入っていないものがあり、小石が入ったおむすびを食べると男の子宝に恵まれるとされています。

はらおひ
子供の健やかなる成長と安産を願って腹帯を巻く風習があります。安産祈願のお参りと腹帯の着帯には戌の日が選ばれます。河口浅間神社でも、安産を祈った腹帯を授かることができますので、社務所にお問い合わせ下さい。

『隆武隊の碑』

9月11日には、隆武隊の祭祀が行われます。河口浅間神社受札所奥の高台に甲斐の勤王、隆武隊の顕彰碑が建立



図一2 隆武隊の碑

おし
されています。河口地区は富士山信仰における御師の里として形成され、江戸時代中期には140軒にも及ぶ御師住宅が存在し、ほとんどの村人が何らかのかたちで御師の業務に携わっていました。時は下り、徳川幕府が大政奉還し、新しい明治の時代に移り変わる混乱の時、河口御師の子弟によって隆武隊が結成されました。勤皇の志のもとに集結した、12歳から20歳前後の46名によって構成され、甲

ようしょう けいこ
斐の要衝である甲府城の警護にあたりました。この功績を讃え、大正6年、河口浅間神社の境内に隆武隊の碑が建立されました。碑には東征軍有栖川宮熈仁親王の侍従、柳原前光副総督の子孫、伯爵柳原義光によって隊史が綴られ、碑の裏には隆武隊46名の氏名が刻まれています。

『地域の神々を祀る合祀社』

かつて、河口地域内の各所にはさまざまな神を祀る社が点在していました。明治9年10月に、小規模な社をまとめて祀る「合祀令」が発令され、河口地区においても点在した小さな社を合わせて祀る「合祀社」が造られました。合祀社は河口浅間神社拜殿の手前、ヒイラ石の北に位置し、幾柱の神々がひとつの社に祀られておりますので、一度に沢山の神々にお参りすることができます。



図一3 合祀社

9月11日には、諏訪祭とともに、合祀社においても神事を執り行います。

『神社の祀神』

日本の各地には、氏神様として多くの神々が祀られています。林業など山と深くかかわりを持つ地域には山の神様、漁業や海運など海に深く関わる地域には海の神様が祀られ、作業の安全や豊漁を祈願されています。われわれ人間は自然から多くの恵みを受けて暮らしています。あらゆる自然の一つ一つに神が宿り、それを尊び、自然の恵みに感謝して生活を営むことは、日本古来の伝統と文化と言えるでしょう。

私たちの郷、河口は、河口浅間神社と深く関わって集落が形成されています。貞観6年(864)に富士山が大噴火を起こし、翌年の貞観7年(865)に富士山の噴火を鎮めるために、勅命により、河口浅間神社が創祀され、火中出産の説話から火の神とされる木花開耶姫が祀られています。木花開耶姫は各地の山を統括する神である父の大山祇神(オオヤマツミ)から、日本一の秀峰「富士山」を譲られ、富士山に鎮座して東日本一帯を守護することになったとの説話があります。降って醍醐天皇の御代、延喜の制において、河口浅間神社は名神大社に列せられました。

富士山の周りには多くの浅間神社があります。浅間神社の読み方として、「あさま」と「せんげん」がありますが、河口では「あさま」と読みます。これつきましては諸説ありますが、「あさま」と呼ぶほうが古式を伝えるようです。

『平成29年伊勢神宮新穀感謝祭のご案内』

山梨県神社庁 南都留支部より「平成29年伊勢神宮新穀感謝祭」が企画されましたので、ご案内します。

(以下、山梨県神社庁南都留支部発行の募集要項より)

伊勢神宮は内宮に天照大神さま、外宮に豊受大御神さまが祀られ「日本人の心のふるさと」として崇敬を集めております。「新穀感謝祭」とは収穫された新穀を献上し、大御神さまのご神徳により、秋の豊かな実り、そして私たちの潤いある日々があることを感謝申し上げるお祭りです。毎年執り行われています。

昨年5月にサミットが開催され、世界から注目を浴びました伊勢に訪れ、日常の無事安泰に感謝し、家内安全、商売繁盛の神のお恵みを願う参拝を企画しましたので、多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

実施日：平成29年11月16日(木)～17日(金)1泊2日

会費：おひとりさま32,000円(神宮初穂料込/御朱印代は含みません)

特典：伊勢神宮(内宮・外宮)御垣内参拝にご参列いただけます。

伊勢神宮より新穀感謝祭参拝記念品が授与されます。

太々神楽の特別奉納を参観します。

本紙をご覧になり、この企画に参加を希望される方は9月30日までに最寄りの河口浅間神社氏子時代に申し込みしてください。